



太陽ホールディングス株式会社
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

〒176-8508 東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
TEL: 03-5999-1511 (代表) FAX: 03-5999-1501
<http://www.taiyo-hd.co.jp>

CSRレポート 2016

社会を照らす、未来を照らす

未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ 25



 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

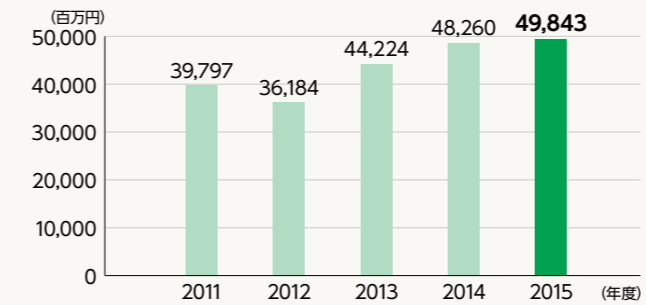
For Tomorrow

明日の地球にできること

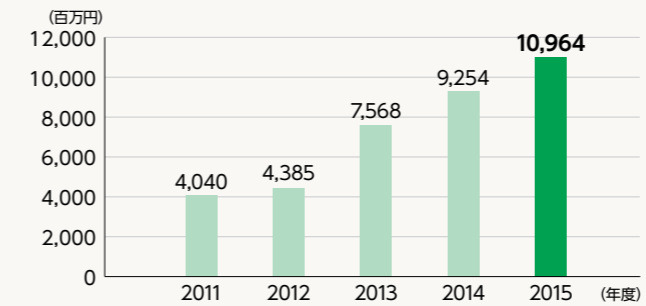
太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。当社グループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、家庭やオフィス、その他生活の身近にあるあらゆる電子機器に使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。ステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、これからも事業を通じて社会の持続的な発展に貢献していきます。



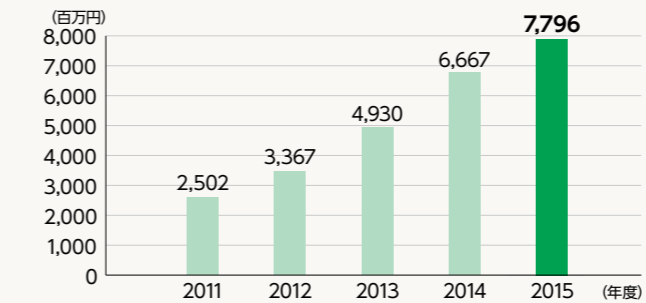
■ 売上高の推移(連結)



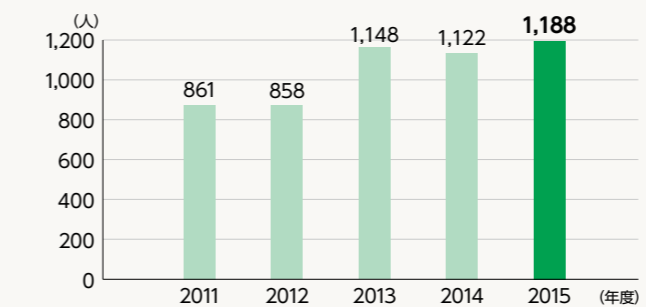
■ 営業利益の推移(連結)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益の推移(連結)



■ 従業員数の推移(連結)



CONTENTS

- 03 トップコミットメント
- 04 経営理念・CSR理念・行動規範
- 05 特集：地域に根ざす太陽HDグループ

■ マネジメント

- 08 2015年度CSR活動の実績と今後の目標
- 09 コーポレートガバナンス
- 09 コンプライアンスに関する取り組み
- 10 リスクマネジメントに関する取り組み

■ 社会性報告

- 11 株主の皆様との関わり
- 12 お客様との関わり
- 12 お取引先との関わり
- 13 地域・社会との関わり
- 15 社員との関わり

■ 環境報告

- 17 環境方針と環境マネジメントシステム
- 18 事業活動と環境との関わり
- 19 環境負荷低減の取り組み
- 21 法規制測定データ集

■ 編集方針

本レポートでは、太陽ホールディングスグループ(以下、太陽HDグループ)の地域貢献の取り組みを特集としてご紹介し、続けて「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱にしています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設け補足しています。

■ 対象期間・対象範囲

本レポートの活動対象期間は、2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、太陽HD)本社ならびに太陽インキ製造(以下、太陽インキ)、太陽グリーンエナジー(以下、太陽GE)、太陽HD嵐山事業所のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。活動対象期間が異なる場合は、該当箇所に別途記載しています。

■ 発行年月

2016年6月(次回予定:2017年6月)

■ 会社概要

社名：太陽ホールディングス株式会社
 英文社名：TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 本社所在地：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
 電話番号：03-5999-1511(代表)
 設立年月日：1953年9月29日
 事業内容：持株会社、グループ全体の経営方針策定および経営管理
 資本金：61億8,820万円
 従業員数：連結1,188名/単体80名(2016年3月31日現在)

■ プロフィール

太陽HDは1953年に印刷用インキの製造販売会社として設立し、その後1976年にエレクトロニクス業界向けのソルダーレジストを主力製品とする事業に大転換いたしました。現在は商号を設立時の「太陽インキ製造株式会社」から「太陽ホールディングス株式会社」に変更し、2013年4月には経営理念の改定を行うなど、常に時代にあわせて進化を続けていますが、設立時の「太陽のように社会を照らし、人々の役に立つ存在でありたい」という想いはそのままに受け継ぎ、これからも皆様に愛される企業グループを目指していきます。

新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2015年度を振り返って

太陽HDグループが永続的に成長していくためには「自律型人材の育成」と「新規事業の創出」が重要であり、優秀な人材を育てていくには会社として「職場環境」「公正な評価・給与」「仕事のやりがい」この3つの施策をバランスよく取り続けることが必要であると考えております。

研究の拠点である嵐山事業所では執務スペースに続き、ラボスペースの大幅な改修を行っています。また2015年12月には、事業所の隣接地に「たいよう保育所」を開所し、安心して子育てや仕事に取り組める環境を整えました。給与待遇についても大幅に改善しており、今後も公正・公平に待遇の標準を上げていきたいと考えております。

2015年10月には「北九州事業所」が竣工いたしました。北九州事業所はBCP(事業継続計画)体制の強化とドライフィルム型製品の量産工場として大きな役割があります。これまで、開発部門による「製品開発」ではなく、営業部門や生産現場も含めて事業そのものを創り出していく「事業開発」をキーワードとして社員全員と共有してきました。今回のドライフィルム型製品の社内量産化は、生産の現場から技術を生み出し事業へと展開した典型的な一例です。このフィルム加工技術は、様々な製品へ広く応用され、大きな事業へ成長していくものと考えております。



CSRの理念を念頭に

当社グループでは、新規事業を推進するにあたり企業の社会的責任も念頭に置いて活動をしています。2015年8月には、嵐山事業所の一角に植物工場が完成し野菜の栽培を開始いたしました。また、10月には「エネルギーの消費者から生産者へ」という取り組みのもと「嵐山水上太陽光発電所」を開所いたしました。いずれもスタートしたばかりで、大きな事業に成長させるには困難と成功が繰り返されると思いますが、地球温暖化や食糧の自給・自活といった今後の世界的な課題に対して、当社グループは化学メーカーとしてこれらの事業を通じて取り組んでいきます。

新入社員を迎えて

「雇用を生み続けること」これが企業の責任であると、私は常々考えています。新たな事業を創出し、幅広い雇用を生み続けることが当社グループのCSRの本質であるといえます。当社では2016年4月に20名もの新入社員を迎えることができました。当社グループの事業のベースとなる化学専攻や、海外留学経験があり語学が堪能であるなど将来が楽しみな新入社員たちです。また、昨年竣工した北九州事業所でも現地雇用として新入社員が入社いたしました。

「学ぶ習慣を身につけてほしい」私はこの言葉を新入社員への祝辞として贈りました。社会人になったばかりの新入社員にわかりやすい言葉を選びましたが、この言葉には、社会人になっても活字から離れずに学び続け、自らの力を常日頃から高めることを習慣にしてほしいという思いを込めております。新入社員たちが学び続けることで、3年後、5年後に新しい事業を創出し、その事業がさらに5年後、10年後には会社を支え、その事業を支えるために多くの雇用を生み出していき、このように当社グループが成長していくことを願っております。

太陽HDグループでは「100年企業」を目指し、今後も新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2016年6月

代表取締役社長

佐藤 英志

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

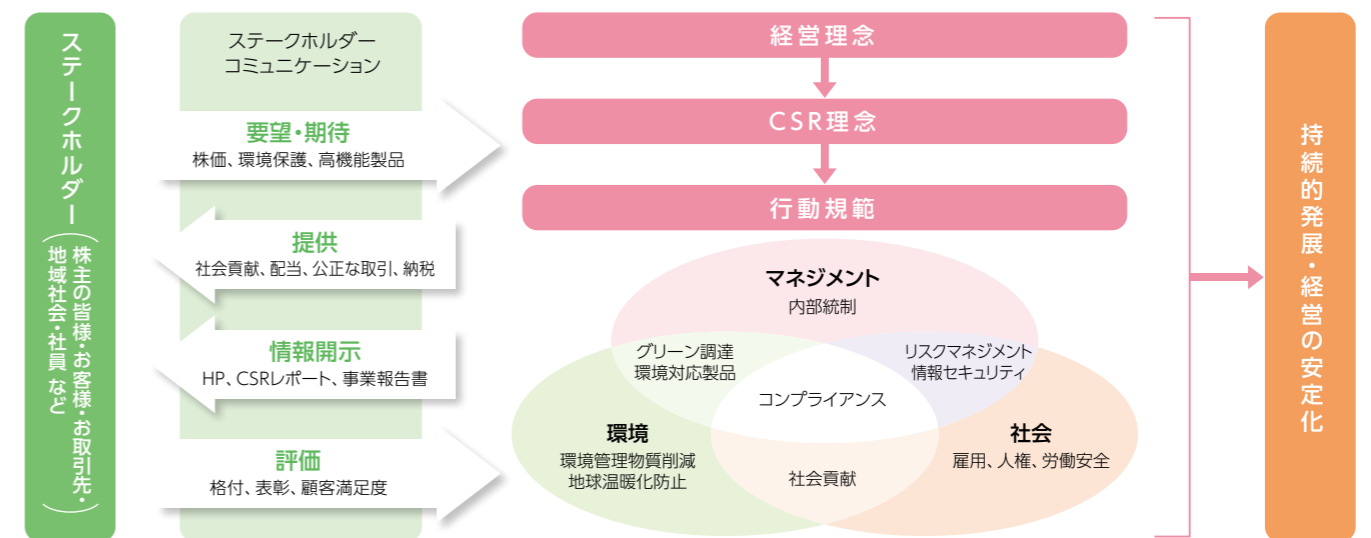
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 倫理・法令遵守 | 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公平かつ公平に行動します。 |
| 2. 職場の環境 | 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。 |
| 3. 公正な取引の実施 | 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。 |
| 4. ステークホルダーの尊重 | 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。 |
| 5. 秘密の保持 | 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報に漏洩しないように管理を行います。 |
| 6. 品質の確保(品質方針) | 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。 |
| 7. 環境の保全(環境基本理念) | 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。 |
| 8. 社会貢献活動 | 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。 |
| 9. 知的財産権の尊重 | 私たちは、創作または保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。 |
| 10. 反社会的勢力の排除 | 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。 |



特集

地域に根ざす太陽HDグループ

当社が埼玉県中部に位置する嵐山町に事業所を設置して30年あまり、2001年には国内の主力生産拠点となる嵐山北山事業所(現:太陽インキ製造本社)を新設し、世界中に製品を供給してまいりました。当社グループは、企業活動の拠点であり従業員の生活の場でもある地域社会との調和を図り、様々な社会貢献活動を通じ地域に根ざした企業市民として、地域とともに成長・発展を目指してまいります。

イベント協力

小川町

- 小川和紙マラソン大会
- 小川町七夕まつり

工場見学の受け入れ

太陽インキでは毎年、地元小学生の工場見学を受け入れています。化学の面白さ・不思議さを体験する機会として、製造現場の見学のほか化学実験教室を開催しています。



国蝶「オオムラサキ」の保護

太陽インキの敷地内で、国蝶「オオムラサキ」が越冬しやすい環境を整えるなど保護活動を行っています。2015年度は20頭もの越冬幼虫が確認できました。



嵐山水上太陽光発電所の開所
嵐山町のご支援をいただき、町所有の調整池をお借りして2015年10月に「嵐山水上太陽光発電所」が開所いたしました。この開所にあわせて、近隣にある嵐山花見台工業団地管理センターに蓄電池を備えた太陽光発電設備を寄付させていただきました。



▶▶▶ P7 Pick UP!! ◀

「彩の国ロードサポート」に登録
この道路はボランティアにより清掃活動が行われています。
団体名: 太陽インキ製造株式会社

嵐山町成人式に記念品を提供

嵐山夏まつりの写真コンテストスポンサー

「七つの祝」式典に記念品を提供

嵐山まつりに模擬店を出店

嵐山さくらまつり花火大会の協賛

植物工場で野菜栽培を開始

たいよう保育所の開所
2015年12月に嵐山事業所の隣接地に「たいよう保育所」を開所いたしました。地域の子どもたちもお預かりさせていただき、地域に開かれた保育所を目指しています。
▶▶▶ P7 Pick UP!! ◀



里山づくりボランティアへの参加
地元の里山づくりボランティアに賛助会員として入会させていただきました。地域の里山づくりに楽しみながら協力させていただきます。
▶▶▶ P7 TOPICS ◀



- ### イベント協力
- #### 東松山市
- 日本スリーデーマーチ
 - ひがしまつやま花火大会

たいよう保育所 ～地域に開かれた保育所を目指して～

2015年12月、嵐山事業所の隣接地に「たいよう保育所」を開所しました。従業員の福利厚生の向上が目的ですが、育児休業などで従業員が長く職場を離れる会社側のマイナス面も解消することができます。

事業所のすぐそばで子どもたちが元気に過ごしている様子は、事業所全体に癒しや活力などの効果ももたらすものと期待をしています。また、地元の子どもたちもお預かりをしており、地域に開かれた保育所を目指しています。

たいよう保育所は自然豊かな環境となっています。年間を通じて地の利を生かした季節のイベントを行うほか、畑や里山をつくり、椎茸の植菌や野菜の収穫などを予定しています。



嵐山水上太陽光発電所 ～エネルギーの消費者から生産者へ～

嵐山花見台工業団地に隣接する調整池の水上に、4,522枚もの太陽光パネルを浮かべた「嵐山水上太陽光発電所」が2015年10月に開所し、発電を開始しました。

水上設置型である嵐山水上太陽光発電所は、日当たりが良く広い面積が確保できるなど太陽光発電には好条件です。また、一般的な陸上設置型に比べて水面の冷却効果により高効率の発電が可能になり、発電量は約370世帯分、CO₂の削減量は年間約400トンを見込んでいます。

なお、嵐山水上太陽光発電所の開所にあわせて、近郊にある嵐山花見台工業団地管理センターに太陽光発電設備を寄付させていただきました。管理センターは震災時などの災害時には150人収容できる避難所となります。

当社グループは、これからも再生可能エネルギー事業への挑戦を通じて、環境負荷の低減や地域への貢献に取り組めます。



TOPICS ボランティア活動への参加 ～楽しみながらご協力～

これまで当社従業員が参加していた地元の里山づくりボランティアに、当社が賛助会員として入会させていただきました。

2016年3月にはボランティア活動の一つとして、当社敷地内で植樹活動や椎茸の植菌などを行いました。地域の皆様にもご参加いただき「エノキ」「サクラ」「モミジ」「クヌギ」「コナラ」を合計50本植樹し、間伐した木材で遊歩道を整備しました。隣接するたいよう保育所の子どもたちにも、自然に触れることができる良い環境が整いました。

今後も、地域の里山づくりに楽しみながら協力をさせていただきます。



ボランティア活動の主な年間予定

- 1月 間伐作業と焼き芋大会
- 3月 当社敷地内の植樹活動
- 4月 竹林の環境整備
- 6月 田植え体験
- 7月 オオムラサキの観察会
- 9月 間伐作業と栗拾い
- 10月 稲刈り体験
- 12月 越冬幼虫調査

2015年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2015年度の主な活動実績と、2016年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺: 目標達成 ☹: 着手したが未達成 ☹: 未着手

マネジメント					
取り組み項目	2015年度の課題・目標	2015年度の主な活動実績	評価	2016年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体のシステムの有効性と効率性の向上 海外子会社における内部統制システムの運用定着と現地化 	<ul style="list-style-type: none"> 中外化成の内部統制システムを新規に構築、独立の評価により有効性を確認 ITシステムの刷新により永勝泰グループの内部統制システムを見直し、独立の評価により有効性を確認 	☺	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の内部統制システムの有効性と効率性の向上 新規連結子会社の内部統制システム構築と定着化 	P9
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社のコンプライアンス活動の推進をサポート 見直されたホットラインの運用の有効性を確認する 啓発活動のための全社的なE&C教育、ならびに社内外への情報発信などの検討、実施 法規制管理に関するサポート体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 対象の海外子会社にてコンプライアンス活動の展開を開始(活動内容を共有化) ホットラインの体制、運用について見直しを実施(手順書改訂、ポスター見直し) 国内全社員を対象としたE&Cセミナーを開催 法規制改正情報の入手体制を構築中(2016年6月稼働) 	☺	<ul style="list-style-type: none"> グループ各社における展開促進のための活動サポート E&C教育および法規制管理に関する活動体制の構築と支援 コンプライアンス活動の社内外への情報発信 ホットラインの運用を継続、有効性の向上を図る 	P9
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き防災訓練を実施 BCP対策を確立 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所で防災訓練、AED講習会を実施 BCP体制の強化として北九州事業所を竣工 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な防災訓練の実施 海外におけるBCP体制強化の検討開始 	P10

社会性報告

取り組み項目	2015年度の課題・目標	2015年度の主な活動実績	評価	2016年度の課題・目標	掲載ページ		
ステークホルダーとの関わり	株主・投資家の皆様	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を実施する ウェブサイト、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を実施する ウェブサイト、CSRレポート、アニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 	P11		
	お客様	<ul style="list-style-type: none"> 粗粒対策および製品品質を高めるために「製品設計」「工程設計」「改善活動」のさらなる推進 基準値の見直し、要領の遵守により異常品の流出防止と発生の未然防止を推進する 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を引き続き推進する 基準値の見直し、要領の遵守に加え、傾向管理の強化により異常品の流出防止と発生の未然防止を推進する 	P12		
	お取引先	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きCSR調達ガイドラインを作成する 	☹	<ul style="list-style-type: none"> 調査を開始した 	☹	引き続きCSR調達ガイドラインを作成する	P12
	地域・社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献で新しい取り組みを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 「たいよう保育所」を開所し、地域の子供たちも受け入れ 地元ボランティア活動に賛助会員として入会 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献を幅広く実施 	P13~14	
	社員	<ul style="list-style-type: none"> 実施準備が完了した案件を実施し、さらなるニーズ調査を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 社員食堂のリニューアルおよび新規設置 「たいよう保育所」を開所 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き社員の能力や適性が発揮できる環境や職場づくりを実施 	P15~16	

環境報告

取り組み項目	2015年度の課題・目標	2015年度の主な活動実績	評価	2016年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減活動を継続して実施する 	<ul style="list-style-type: none"> クールビズ、ウォームビズおよび監視機器による電力量のチェック・コントロールを継続実施 受変電設備等の更新の際に、省エネ機器を導入 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減活動を継続して実施する 	P17~22

コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制

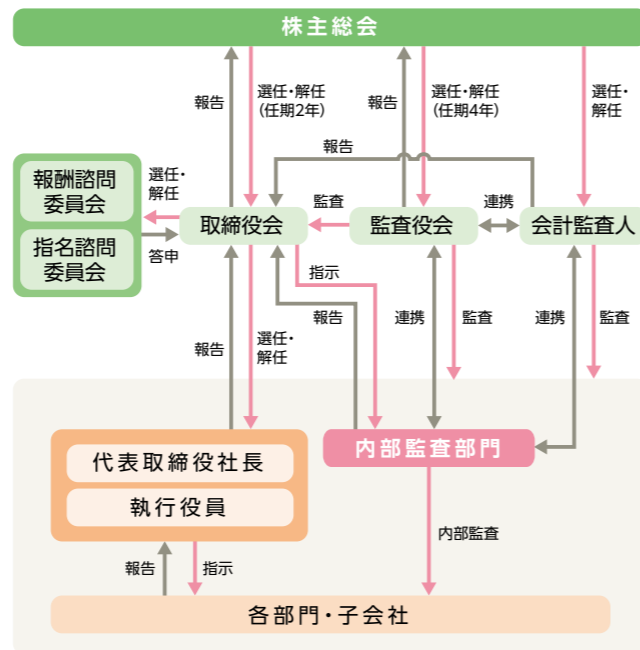
社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要であると考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる業務執行とその監督の体制を整え、太陽HDグループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

内部統制システム

2015年度は第70期内部統制基本計画に基づき、以下の重点課題の対応を中心に、内部統制システムの有効性、効率性の向上に努めました。

- ①太陽HDグループの一員として新たに加わった中外化成株式会社の内部統制システムの構築、関連文書の整備を進め、計画どおり運用を開始しました。
- ②永勝泰^{*1}グループ3社で個別に運用していたITシステムをそれぞれ太陽蘇州^{*2}や台湾太陽^{*3}と同一のものに入れ替え、業務プロセスの標準化が図れました。

●コーポレートガバナンス体制図



※1 永勝泰科技股份有限公司
 ※2 太陽油墨(蘇州)有限公司
 ※3 台湾太陽油墨股份有限公司

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

北九州事業所竣工とBCP体制の強化

太陽インキの新たな生産拠点となる「北九州事業所」が、2015年10月15日に竣工しました。北九州事業所は今後の需要が期待される半導体パッケージ基板用の液状型ソルダーレジストおよびドライフィルム型ソルダーレジストの量産体制の確立とBCP(事業継続計画)体制の強化を担うこととなります。

■北九州市に生産拠点を設けた理由

- ①低災害リスクエリア
北九州市は地震や津波などの自然災害が少ない低災害リスクエリアであり、事業の継続において大きな利点といえます。
- ②市場との近接
北九州市は当社グループのお客様の多くが工場を構えるアジア地域とのアクセスに恵まれています。
- ③支援体制の充実
北九州市をはじめとした行政支援および北九州事業所の建設地である三菱化学株式会社黒崎事業所内のユーティリティ供給などのサポート体制が整っています。

北九州事業所の竣工により、当社グループの主力製品であるソルダーレジストの生産拠点は8拠点(国内2拠点・海外6拠点)となり、BCP体制がさらに強化されます。当社グループでは大規模災害等の有事の際も、製品を安定して供給することが世界トップシェアメーカーとしての責務であると考え、今後もBCP体制の構築に努めてまいります。



新たに竣工した北九州事業所

コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

近年、企業コンプライアンスは社会における企業の評価基準の一つとして重要視されています。太陽HDグループは社内組織、社員一人ひとりの倫理・法令遵守意識を高め、今まで以上に社会から信頼される企業を目指し、活動を推進しています。

当社グループの「CSR理念」および「行動規範」を社員が理解し、その精神に沿った活動が維持されるよう社内組織であるコンプライアンス推進組織を中心に啓発活動を行っています。2015年度は日本国内における社員の相談・通報窓口となる「ホットライン」、ならびに業務に関わる法令や規則の改正情報を入手する体制整備を進めるとともに、海外グループ会社においては各国の文化や慣習に配慮した自発的、積極的な倫理・法令遵守活動を進めています。

コンプライアンス教育

従業員の倫理・法令遵守意識の向上を目的に、部署ごとに年間計画を策定し、業務に沿った教育を行っています。2015年度は外部より講師を招き、国内社員合同の社内セミナーを開催、法令違反のリスクや倫理的な判断基準について再認識する機会となりました。

当社グループは今後もコンプライアンス教育を継続し、より一層、企業コンプライアンスを高めていきます。



社内セミナーの様子

AED講習会の実施

太陽HD本社では2015年10月にAED(自動体外式除細動器)の講習会を実施しました。当日は外部から講師を招き、応急手当の重要性やAEDの使い方・注意点の講義を受けた後、実際にAEDを用いた心肺蘇生の実習を行いました。

AEDを使用するには、今回のような実習で知識や技能を定期的に学習し、維持することが重要であると実感しました。なお、太陽HD本社をはじめ各拠点では、緊急時に備えてAEDレスキューセットを設置しています。



心肺蘇生の実習

防災訓練の実施

太陽インキでは、地域の消防本部の協力のもと、毎年、防災訓練を実施しています。今年度は、リニューアルした施設からの出火を想定して行いました。

今回は避難集合同所を変更したことで、これまでとは異なる避難経路を使うことになりましたが、迅速に実施することができました。避難訓練後には、消火訓練と地震体験車による大地震の模擬体験を行い、防災意識と災害に対する知識の向上を図りました。



地震体験車による模擬体験

株主の皆様との関わり

利益の配分ならびに適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様への「幸福と繁栄」に寄与します。

利益の配分について

太陽HDでは、株主の皆様への現金による利益還元を重要政策と位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しています。具体的には株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

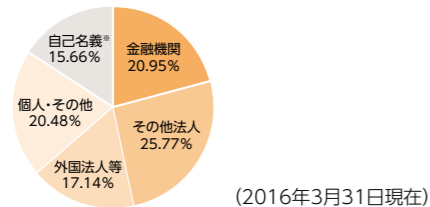
なお、2015年度は年間配当額を1株あたり20円増額し、合計110円とさせていただきます。自己株式の取得についても株価水準、需給動向などを見極めながら検討をさせていただきます。

●株式の状況

発行済株式数	株主数
27,485,600株	5,413人

(2016年3月31日現在)

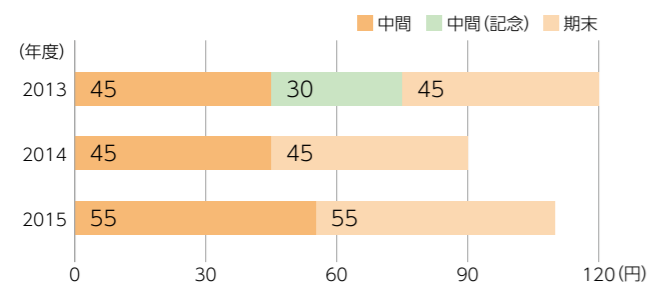
●株式分布状況



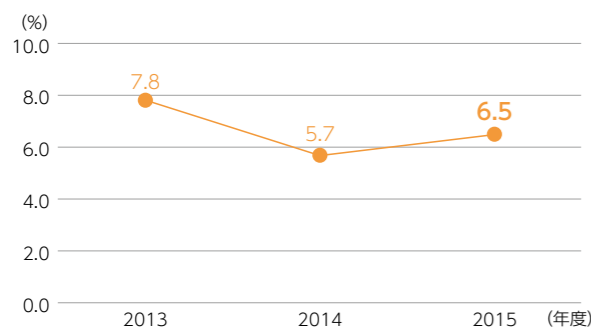
(2016年3月31日現在)

※日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式74,390株を含んでいません。

●1株あたりの配当の推移



●株主資本配当率の推移(連結)



IR活動

投資判断に有効な情報を株主・投資家の皆様にお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動の実施を基本方針としています。

具体的な活動として、ウェブサイトでのIR情報の提供、アニュアルレポートの発行、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会開催、機関投資家との個別ミーティングなどを実施しています。また、決算発表の早期化を継続しており、決算説明会は決算発表当日に行うなど、情報開示の迅速化にも努めています。

開かれた株主総会

2015年6月19日、第69回定時株主総会を開催しました。当社の定時株主総会は、多くの株主の皆様にご出席いただきたいという思いから、例年、株主総会が集中する期間を避けて開催していましたが、2014年からはさらに開催日を一週間ほど早め、現在も継続しています。今後は、招集ご通知の早期発送や議決権のインターネットによる行使を可能にするなど、環境の整備を図っていきます。

なお、株主総会の模様は、ウェブサイトのオンデマンド配信により、当日ご出席いただけなかった株主の皆様をはじめ、報道関係の方など、どなたでもご覧いただくことができます。

TOPICS ウェブサイトのご紹介

当社は株主・投資家の皆様に対し、企業情報や財務情報などの情報開示を積極的に行っています。2015年度には、より見やすくわかりやすいようにウェブサイトを全面リニューアルしました。事業内容や製品の最新情報も掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

また、メールマガジンの配信サービスもごございますので、当社が発表した最新情報について連絡をご希望の皆様はぜひご登録をお願いいたします。



お客様との関わり

太陽インキではISO 9001:2008に基づいた品質マネジメントシステムを適用して、品質保証、品質管理、品質改善の活動を行い、お客様にご満足いただける品質と安全性を確保し提供しています。

マネジメントシステムの改善

2015年度は、ISO 9001(QMS^{※1})、ISO 14001(EMS^{※2})のマネジメントシステムが、2015年度版として改訂され、QMS、EMSともに「組織の事業活動とマネジメントシステムの一体化」が強調されたシステムとなりました。また、各プロセスごとにリスクを事前に抽出したうえで、事後の是正処置ではなく、予防(改善)活動を行うことを要求したシステムとなりました。

2016年度は、「QMSとEMSと事業活動での統一課題」を目標として設定し活動していくとともに、マネジメントシステムが改訂されたこの機会に基本に立ち返り、5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に力を入れ、事業活動に有益な改善活動を行います。

■製品のインプットからアウトプットまでのチェック項目

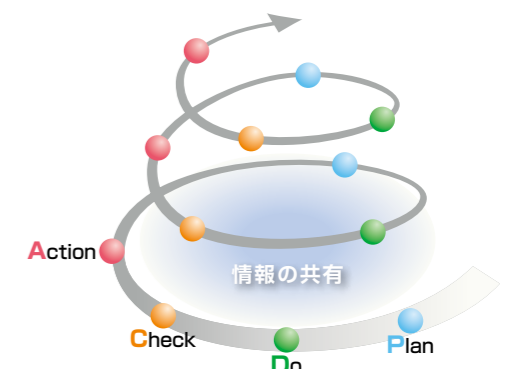
- ①原料受入検査(安定した生産の確保)
原料の受入検査について、積極的に傾向管理^{※3}を取り入れ、安定した生産が行えるように、品質管理強化を実施します。
- ②工程内チェック項目の安定化(製品検査に頼らないものづくり)
製品のでき栄(製品品質)の確認は製品検査だけに頼るのではなく、工程内のチェック体制を強化することで品質の作り込みを行っています。
- ③製品検査(安定した製品の提供)
製品検査においても、規格の適合性確認だけではなく、傾向管理に力を入れ、安定した製品をお客様に提供できるよう努めていきます。

お客様からの声の活用

お客様から寄せられる苦情をはじめとする様々な声は、品質向上の絶好の機会ととらえています。

お寄せいただいた声は取りこぼすことなく原因を究明し対策を講じることで、今まで以上に質の高い製品の提供に日々努めています。

●お客様との情報共有に基づく品質改善



用語解説
 ※1 QMS:品質マネジメントシステム
 ※2 EMS:環境マネジメントシステム
 ※3 傾向管理:規格の合否判定だけでなく、実測値がどのように推移しているか確認し、不合格になる前に対策を講じ、安定した品質を維持する活動

お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化のためにお取引先にご協力をいただき、今年も立ち入り監査を実施しました。

監査は主に購買課、品質保証部にて構成されたメンバーで行い、場合によっては製造技術・設計部門も加わり、原料および副資材の品質向上を目的に実施しています。

監査の実施結果

2015年度は、お取引先5社の監査と4社の工場見学・立ち会い試験を実施しました。

- ①品質不具合のフォローアップ 3社
- ②原料安定供給確認 2社
- ③生産工程の見学、試験 4社

お取引先の監査および外注先での立ち会い試験を通じて、当社製品の用途や原材料に要求される品質をご理解

いただき、生産に活用していただいています。また、訪問先にてお取引先の環境管理物質への取り組みおよび環境負荷物質の管理について確認をさせていただき、環境面のご理解をしていただきました。

下請法の遵守

公正取引委員会からの「下請事業者との取引に関する調査」について積極的に協力しました。

下請法対象の8社に対して取引を行う際に、以下を十分考慮して対応しています。

- ① 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- ② 金融繁忙期の資金繰りへの配慮
- ③ 下請事業者の利益の確保
- ④ 原材料価格等の上昇への配慮
- ⑤ 消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保

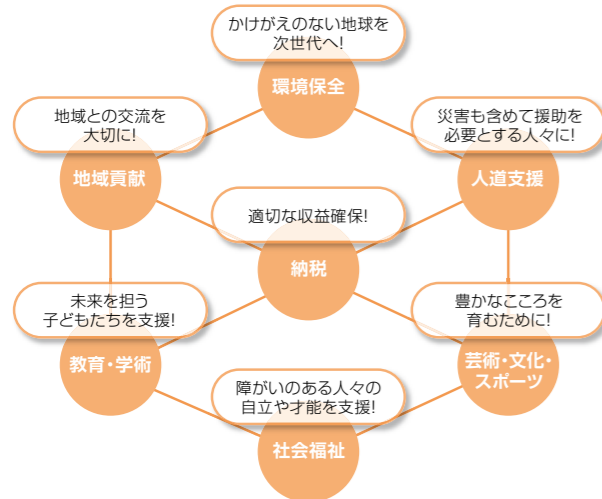
地域・社会との関わり

地域社会と地球環境との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、共に成長する企業であり続けるため、太陽HDグループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

●太陽HDグループが目指す社会貢献



2015年度 地域・社会貢献活動概要

活動項目	実施時期	内容
嵐山町成人式	1月	記念品の提供
練馬みどりの葉っぱ基金寄付	4月	練馬区の自然保護活動への協力
嵐山町民体育祭	10月	賞品の協賛
日赤献血活動	10月	輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うための活動
「七つの祝」式典	11月	記念品の提供
日本赤十字(募金)	11月	人間の命と健康、尊厳を守るための活動に協力
赤い羽根共同募金	11月	地域福祉の推進を支援
日本ユニセフ協会(募金)	11月	子どもたちの権利が守られる世界を実現するための活動に協力
嵐山まつり	11月	模擬店の出店や祭りの運営に協力
工場見学	11月	小学生の社会科見学受入れ
保育所の設置	通年	地域の子どもたちも受入れ
学校教材への協力	通年	社会科副読本「らんざん」への掲載協力
イベント協賛	通年	スポーツイベントなどへの協賛金の拠出
義捐金・救済金寄付	通年	海外を含めた激甚被災地への復旧支援
子ども110番の家登録	通年	緊急時の避難場所として、当社を登録
嵐山町町内小中学校PTA資源回収協力	通年	教材費用などへの活用を目的として廃段ボールを提供
エコキャッププロジェクト	通年	ペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力
使用済み切手収集	通年	使用済み切手を集め、施設や団体に寄付

社会貢献活動

■献血サポーター

近年の少子高齢化に伴う献血者の減少などにより、慢性的な血液不足が深刻化しています。血液は使用期限があり、また人工的につくり出すことができないため、継続的な献血を実施し、必要な血液を確保しておく必要があります。

太陽インキは、日本赤十字社の「献血サポーター」に登録し、献血活動を応援しています。毎年、事業所にて献血バスによる献血を実施しており、太陽HDグループの他拠点に勤務する社員もこの巡回献血に協力しています。



巡回献血の様子



■イベントへの協賛

当社グループでは、日頃からお世話になっている地元の皆様への感謝の気持ちと、地域の活性化の一役になればとの思いから、各種イベントへの寄付や協賛を通して運営の協力をしています。



嵐山さくらまつりで花火打上げを協賛

2015年度は、太陽HD本社の地元で開催された「練馬こぶしハーフマラソン」や太陽インキの近郊地域で行われた「小川和紙マラソン大会」「日本スリーデーマーチ」などのスポーツイベントに協賛しています。文化イベントでは、地元地区のお祭りをはじめ、「嵐山まつり」への出店、「嵐山さくらまつり」「ひがしまつやま花火大会」「小川町七夕まつり」などに協力しています。また、



都幾川桜堤でのお花見の様子

マラソン大会への参加や、嵐山さくらまつりの際にお花見を企画するなど、従業員も積極的に参加し楽しみながら、各種イベントを盛り上げています。

地域貢献活動

■嵐山まつりへの出店

嵐山事業所や太陽インキが所在する埼玉県比企郡嵐山町では、毎年11月に「嵐山まつり」が開催されます。日本史に名を残した木曾義仲や畠山重忠などの郷土ゆかりの武将の歴史と伝統を継承する文化まつりで、鎧武者に扮した町民の方々が町内を練り歩く姿は迫力満点です。

当社グループは、毎年模擬店を出店し子ども向け玩具・遊具の販売を行っていますが、2015年度は昨年度に引き続き、唐揚げの販売と化学実験教室も開催し、地域の皆様との交流を図ることができました。なお、当日の売上金は全額社会福祉協議会へ寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきます。



参加スタッフの集合写真

■工場見学の実施

太陽インキでは、地元小学生の社会科見学を受け入れています。2015年度は、2校から86名の子どもたちが工場を訪れ、見学者コースから生産工程を順番に見学するとともに、当社製品の簡単な説明や化学実験教室を行いました。当社の製品は、一般消費者の方々には馴染みの薄いものですが、生活のなかの様々な場面で活躍しています。



製造現場の見学

子どもたちにとって職場や仕事の理解が深まるような体験であり、当社製品を少しでも身近に感じるような機会になってくれればうれしく思います。

VOICE 工場見学での化学実験教室

今年で2年目となった化学実験教室では、光硬化型樹脂を用いたスタンプを作製しました。子どもたちは初めて取り組むスタンプ作りに熱中し、自分たちの作ったスタンプを押して絵柄が見えたときには、とてもうれしそうなお顔を浮かべていました。今回のように子どもたちが楽しみながら実験に取り組むことで「化学って面白い!」と興味を持つきっかけとなれば良いと思います。



化学実験教室の様子 2015年春入社 社員一同

環境保全活動

■ロードサポートの登録

太陽インキは「彩の国ロードサポート」に登録し、国道254号線を中心とした清掃美化活動を行い、快適で美しい道路環境づくりの推進に協力をしています。

地域の美化に貢献することは、社員の環境に対する意識向上にもつながっており、嵐山町の自然とそこに暮らす生物を守るためにも、今後も地域の清掃活動を継続してまいります。



清掃美化活動の様子

■地元のボランティア活動への参加

太陽インキの敷地内で、国蝶「オオムラサキ」の保護活動などを行っている地元の里山づくりボランティアに、今年から太陽HDが賛助会員として入会させていただきました。



国蝶「オオムラサキ」

これまでの、当社の従業員が有志として参加していましたが、これからは当社が賛助会員として参加し、地域の里山づくりに楽しみながら協力をさせていただきます。

2016年3月には、嵐山事業所内で植樹活動を行いました。当日は当社の従業員や家族をはじめ、ボランティアの方々や地域の皆様にもご参加いただき「エノキ」や「サクラ」



植樹活動の様子

など50本の植樹と間伐した木材で遊歩道をつくりました。2015年12月に開所した「たいよう保育所」が隣接していますので、保育所の子どもたちにとっても良い環境が整いました。

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを活かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

太陽HDグループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

また、国籍や性別、年齢などに関係なく活躍できる職場を提供するとともにワーク・ライフ・バランスを推進するために、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

●社員概況(2016年3月31日現在)

	男性	女性	合計
正社員総数 ^{※1}	276人	52人	328人
正社員以外の雇用数 ^{※2}	4人	0人	4人
社員平均年齢 ^{※3}	44.65歳	37.75歳	43.57歳
社員平均勤続年数 ^{※3}	17.65年	13.49年	17.00年
障がい者雇用人数	2人	0人	2人
障がい者実雇用率 ^{※4}	—	—	1.22%
再雇用人数	12人	0人	12人

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE(海外外向者を含み、出向受入社員を除く)

※1 契約社員、パート社員、再雇用社員を除く

※2 契約社員、パート社員

※3 再雇用社員を除く

※4 障がい者雇用率制度による

「次世代の育成」に寄与する支援制度

入所待機児童の増加が社会問題となっているなか、太陽HD、太陽インキおよび太陽GEは、仕事と家庭生活の両立を支援するため育児休業・短時間勤務の制度化をはじめ、各種制度を取り入れています。

●主な支援制度

	制度名	利用者数		
		2013年度	2014年度	2015年度
育児支援	育児休業制度(満1歳に達した翌年度末まで)	3	2	2
	育児短時間勤務制度(小学校3年生修了まで)	10	11	11
介護支援	介護休暇・介護短時間勤務制度(延べ日数93日)	1	0	1
看護支援	看護休暇制度	60	53	48
永年勤続	リフレッシュ休暇制度(勤続5年ごとにリフレッシュ休暇と資金の支給)	63	57	56

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE

育児短時間勤務制度は法令で定められている期間を超え、3歳以上～小学校3年生の小さな子どもがいる社員に対して、希望により1日の勤務時間を6時間30分まで短縮できるよう定めています。

今後もワーク・ライフ・バランスを推進し、社員が働きやすい環境づくりを進めていきます。

社内研修の取り組み

当社グループでは、グローバルに事業展開が進むなか、社員の語学スキルの向上が重要だと考えており、語学研修の機会と内容の充実を図っています。

特に英語研修では、参加を希望する社員をTOEIC試験



社内研修の様子

の成績に準じてクラス分けするなど、レベルに応じて幅広い社員が適切な内容で受講できるように、工夫して取り組んでいます。

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入しています。2015年度は、より難易度の高い資格を取得する社員が増えました。

当制度は外国籍社員の増加に伴い、日本語能力試験を支援対象としています。この制度の利用によって、多くの社員がスキルアップできるよう、今後も支援を続けていきます。

●難易度別資格取得者数

難易度	取得者数					合計
	S	A	B	C	D	
2013年度	0	1	9	11	1	22
2014年度	0	1	6	12	1	20
2015年度	0	4	5	6	0	15

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE

※難易度：Sは司法書士・公認会計士など、Aは税理士・中国語検定1級など、Bは日商簿記検定試験2級・TOEIC TEST 700点以上など、Cは産業カウンセラー・基本情報技術者など、Dは環境管理士3級・実用英語技能検定3級など、基準を当社で設定している

たいよう保育所の開所

太陽HD嵐山事業所の隣接地に、子育てと仕事を両立させたい社員への福利厚生向上と近隣の子どもたちをお預りすることによる地域貢献の一環として、2015年12月1日に



たいよう保育所の全景

「たいよう保育所」を開所しました。建物の外壁や内装には埼玉県産の柔らかい木材(スギ、ヒノキ)を使用し、温かみを持たせるとともに、子どもたちが安全に遊ぶことができる室内としました。

設備面では、太陽光発電システムを導入し、建物内への電力供給と蓄電を行い、停電などの緊急時にも備えています。さらに床暖房を設置したことにより、寒い冬でも暖かく過ごすことができます。また、畑や里山をつくり、椎茸の植菌や芋ほり体験など、年間を通して地の利を生かした季節のイベントも企画しています。

今後も「たいよう保育所」を通して、子どもたち、社員、会社そして地域がともに成長できるよう、この施設を有効に活用したいと考えています。



種芋の植え付けの様子



木のぬくもりが感じられる内装

VOICE 「たいよう保育所」利用者の声

2016年2月より長女を預けています。保育所自体が小規模なため、保育者の目が行き届き、とても良い距離感で見守ってくれていると感じます。また、事業所の目の前にあるため、勤務中でも窓から様子が見えたり、急病時の迅速な対応ができたりするのも安心です。娘も、自分より小さい子と触れ合う機会が多いためお姉さんらしくなってきました。隣接する畑で野菜を育てるなど、季節ごとのイベントも楽しみにしています。



研究部 平井

●保育プログラム

対象年齢	保育プログラム	月次
0~2歳児	スタッフとの触れ合い遊び、手遊び、わらべ歌、絵本、赤ちゃん体操、玩具を使った手遊び、運動遊び、沐浴・外気浴、戸外遊び・お散歩、トレッジャーバスケット、楽器遊び、描画・造形活動	お誕生会 身体測定 避難訓練
3~5歳児	絵本・紙芝居・指人形・玩具、おもちゃなどのごっこ遊び、描画・造形活動、歌・手遊び・表現遊び・劇遊び、音楽リズム・楽器遊び、運動遊び、体操・戸外遊び・お散歩、季節感を取り入れた遊び、ルールのある遊び、英語に触れる・異文化理解、文字に触れる・正しい言葉、数量・図形に興味を持つ、科学的な遊び	

●年間行事予定

季節	行事
春	乳幼児健診(4月)、子どもの日・母の日(5月)、父の日(6月)
夏	七夕(7月)、水遊び・遠足(8月)
秋	敬老の日(9月)、遠足・乳幼児健診・ハロウィン(10月)
冬	歯科検診・個別面談(11月)、クリスマス会(12月)、伝承遊び(1月)、節分(2月)、ひなまつり・お別れ会(3月)

●保育日課

時間	乳児(0~1歳児)	幼児(2歳児以上)
7:30	順次登所、検温・自由遊び	順次登所、検温・自由遊び
9:00	朝の会、出席確認、歌・体操、授乳	朝の会、出席確認、歌・体操
10:00	設定保育	設定保育
11:00	午前食	
11:30	午睡準備	給食
11:45	午睡	
12:00		午睡準備
12:15		午睡
14:45	起床・検温・お着替え	
15:00	授乳・午後食・おやつ	起床・検温・お着替え
15:30		おやつ
15:45	自由遊び、設定保育、混合保育、帰りの会・降所準備	自由遊び、設定保育、混合保育、帰りの会・降所準備
18:30	延長保育、夕食・授乳	延長保育、夕食
20:00	延長保育終了	延長保育終了

環境方針と環境マネジメントシステム

環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともに、太陽HDグループのすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

太陽HDグループは、CSR行動規範に「環境の保全」として環境基本理念を定め、「私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。」と明言しています。環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を

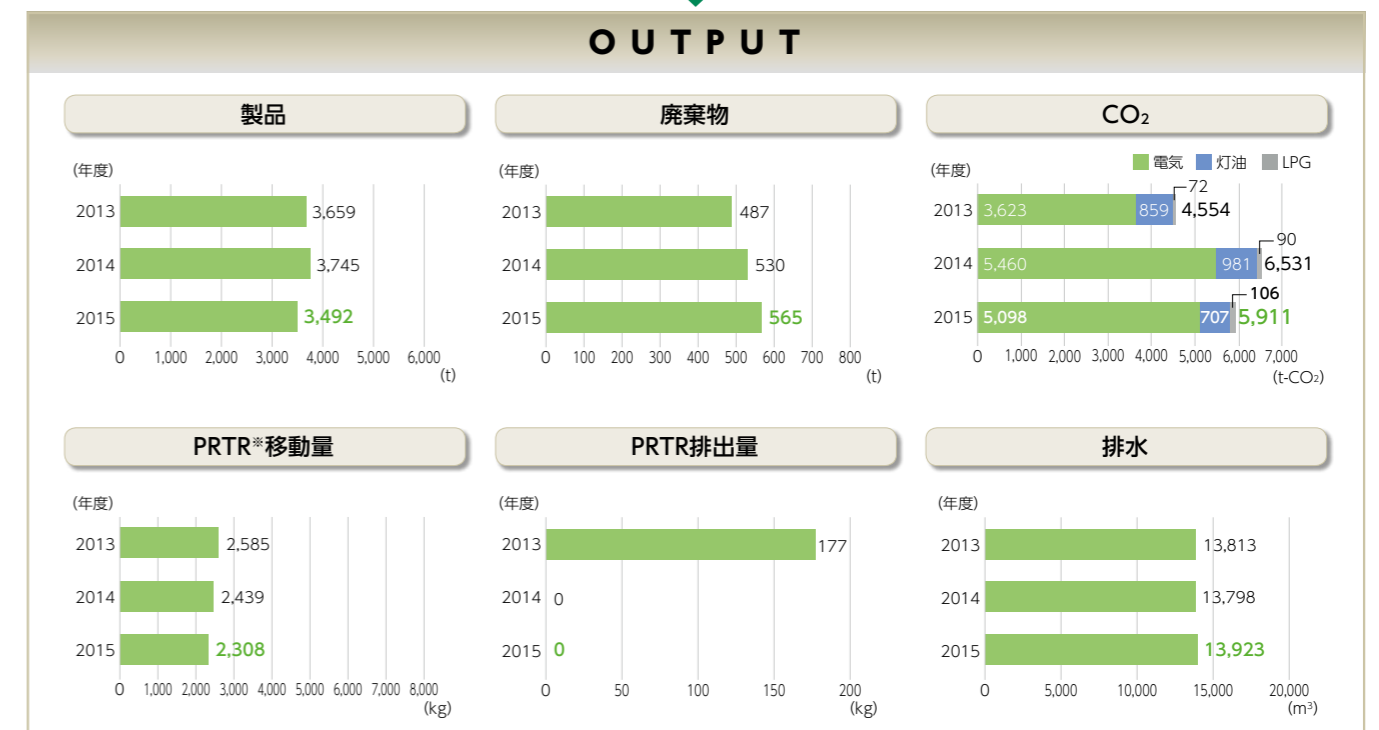
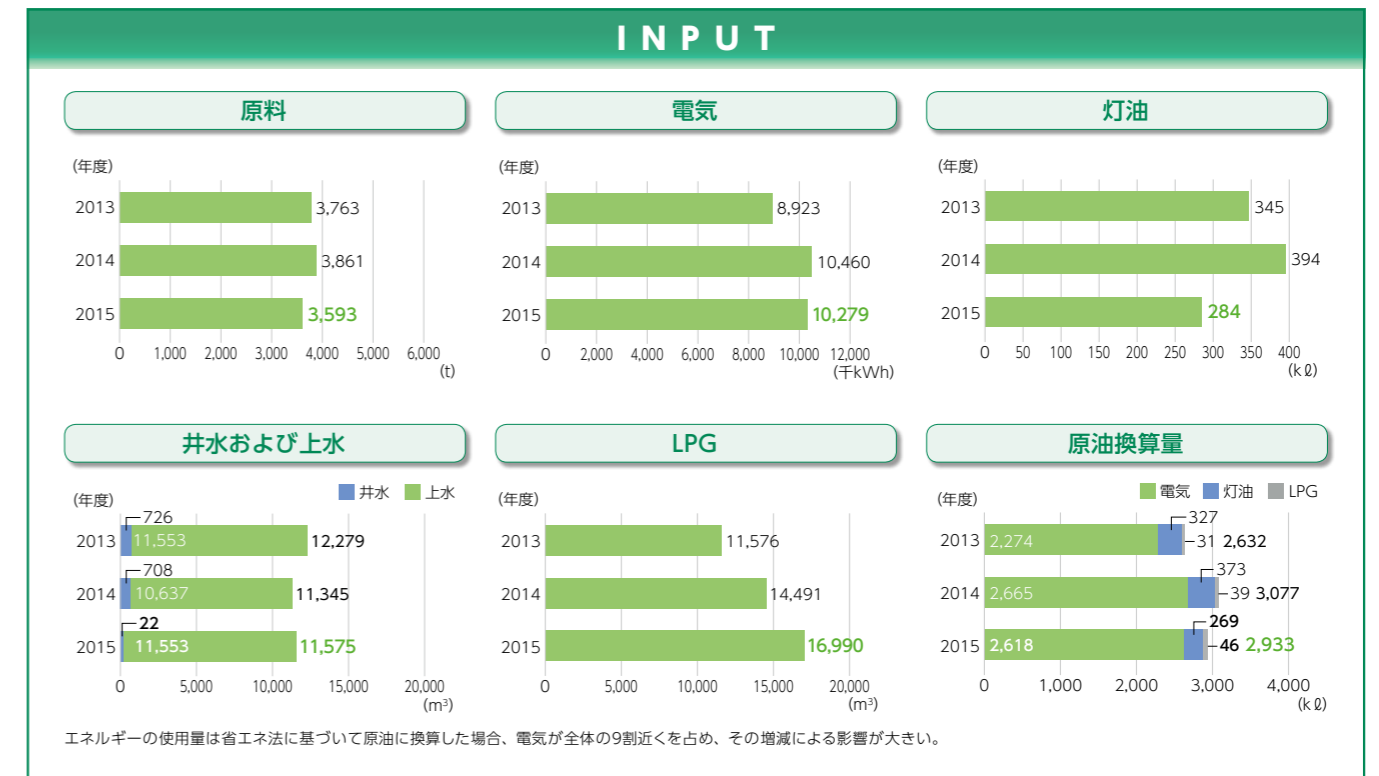
守ることが経営上の重要な課題のひとつであると認識しており、環境経営の実現に向けて、この認識を役員および全社員と共有し、活動しています。

以下は、日本の生産拠点である太陽インキの環境基本理念と環境方針です。



事業活動と環境との関わり

事業活動において、どれだけ資源やエネルギーを使用(INPUT)しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生(OUTPUT)させているかデータを把握し、分析しています。



用語解説 ※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

環境負荷低減の取り組み

化学物質によって実現できる豊かさを得た一方、地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

嵐山水上太陽光発電所の開所

太陽HDグループのグループ会社である太陽GEが建設を進めていた嵐山水上太陽光発電所が、2015年10月に開所し同月より「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による発電を開始しました。

発電効率の良い水上設置型を採用し、一般的な地上設置型よりも高い発電量を見込んでいましたが、現在の計画を上回る発電量を計測しており、水上設置型の特徴を生かせる夏場には、さらなる発電量を見込んでいます。

当社グループは、「エネルギーの消費者から生産者へ」という新たな取り組みのもと、地球温暖化対策やエネルギーの確保、環境汚染への対処などが期待される「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、企業の社会的責任を果たしていきます。



嵐山水上太陽光発電所

嵐山水上太陽光発電所の概要

所在地：埼玉県比企郡嵐山町花見台1-1第3調整池
設置面積：約13,300㎡
出力規模：1,153kW
パネル枚数：4,522枚

環境に対する効果

発電量：約370世帯分
CO₂削減量：約400トン/年
パネル設置工法：池底アンカー方式
(自然環境や景観を損なうことが少ない)

嵐山水上太陽光発電所の特徴

水上は日当たりが良く太陽光発電には好条件ですが、嵐山水上太陽光発電所の特徴はそれだけではありません。太陽光発電は夏場は日差しが強く発電には好都合ですが、その反面、パネルの裏面温度が上がることにより発電効率が落ちてしまうという矛盾した特性があります。一方、水上設置型である嵐山水上太陽光発電所では、パネルの裏面が水面の冷たい空気により冷却されるので、高効率の発電が可能となります。また、電力需要の高まる夏場でも高効率の発電ができるので、CO₂の削減に大きく貢献できるという特徴があります。

パネルを水上に設置する工法にも工夫があります。水上設置型の場合、池岸に土台を作りその土台からワイヤーで係留する陸地係留方式が比較的容易な工法ですが、嵐山水上太陽光発電所では、池底にアンカーを打ちワイヤーで固定する池底アンカー方式を採用しました。池底アンカー方式は、施工が非常に難しいですが、池岸の大規模造成が不要であり、また将来的な原状回復も容易であることが特徴で、調整池周辺の自然環境や景観を配慮した工法といえます。また施工による近隣への騒音や振動が少ないのも採用の理由の一つです。

VOICE 環境負荷低減への一歩

私は太陽インキ(現太陽HD)に入社以来、研究開発、技術管理、内部監査などの業務に携わってきました。その間、日本経済は大きく成長し、当社グループも発展してまいりました。私自身、このような成長や発展を現場の一線で実感できたことは貴重な経験でありましたが、一方では、化石エネルギーの大量消費を一因とした地球温暖化などの問題が発生していることに危機感を感じていました。

そんななか、まだ太陽GEが太陽HDの一つのプロジェクトであった2013年から、発電事業やもう一つの事業である植物工場の運営に携わることになり、2015年には嵐山水上太陽光発電所が開所し、植物工場も完工することができました。

今後、事業として大きく成長させていくには多くの困難があると思いますが、「エネルギーの消費者から生産者へ」という当社グループの取り組みは、私にとって楽しく前向きに実行できるものであり、社会の一員である当社グループにとっても非常に意義が深いものであることを胸に、まだまだ邁進していきたいと思っています。



太陽GE 友部

生ごみ処理機の導入

太陽HDグループでは、温かい食事の提供とコミュニケーションエリアとして活用することを目的に、社員食堂のリニューアルを行いました。太陽HD本社および太陽HD嵐山事業所では、それぞれ「太陽キッチン」「嵐山食堂」を新設。太陽インキでは、従来のセントラルキッチン方式から厨房内調理方式に変更した「TAIYO CAFE」をオープンしました。

できたてのおいしい料理と居心地の良い雰囲気から従業員からは好評ですが、一方、事業所内での生ごみの排出量が多くなり、「ゼロエミッション」を掲げ産業廃棄物の適正処理や発生抑制、資源の有効活用に取り組む太陽インキや、従業員の多い太陽HD嵐山事業所では課題となっていました。そこで、太陽HD本社を含めた各拠点では、2015年度にそれぞれの排出量に合わせた生ごみ処理機を導入しました。

太陽インキでは、生ごみを外部へ排出することがなくなり、長年の目標であった「ゼロエミッション」の達成が近づいてきました。



太陽インキで導入した生ごみ処理機

また、太陽HD嵐山事業所では、「たいよう保育所」の子どもたちと季節の野菜を収穫するために用意した畑の肥やしとして、処理後の食品残渣を再利用しています。



処理後の食品残渣(畑の肥やしとして再利用)

太陽HD本社では、従業員数が少なく生ごみの排出量も少ないため、乾燥方式の家庭用生ごみ処理機を導入しました。生ごみの体積は8分の1ほどになり臭いも少ないため、活用しています。また、ごみを分別する意識が高まるなどの効果もあります。



太陽HD本社で導入した家庭用生ごみ処理機

受変電設備の更新

太陽HD本社では2015年度、受変電設備の更新を実施しました。今回の更新の目的は、受変電設備の各機器の更新時期に基づくものですが、併せて電気効率の良い変圧器を採用し、適正な電気容量に変更することにより、使用電力量の削減も図りました。

また、変圧器やコンデンサは環境に配慮した絶縁油を使用しており、最新の受変電設備により安心して安定した電力を受給することができます。

太陽HDグループでは、各種設備の更新にあたり、その機能や性能だけでなく、環境面にも配慮された設備の更新を進めていきます。

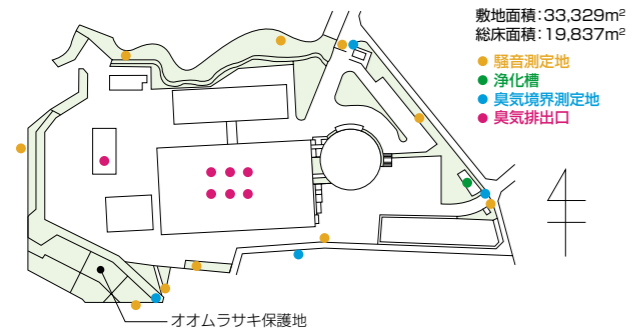


更新した受変電設備

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ製造 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例^{*1})

臭気指数	測定箇所	規制値	2013年度	2014年度	2015年度
臭気指数	敷地境界線	15以下	10未満	10未満	10未満
	E-1011	35以下	27	26	27
	F-1001	39以下	24	27	25
	第二工場	31以下	—	12	10未満
	E-1021	42以下	—	36	34

● 騒音(騒音規制法^{*2}/埼玉県条例)

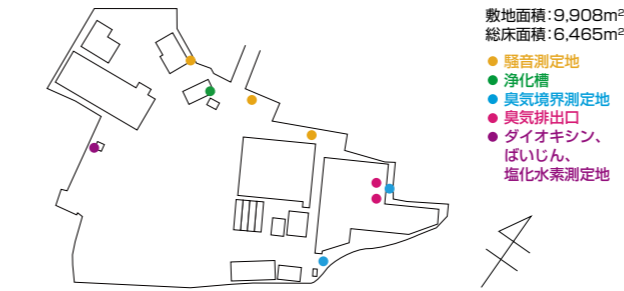
	測定箇所	規制値	2013年度	2014年度	2015年度
			(dB)		
朝	東側	50以下	44	43	42
	南側		42	43	42
	西側		44	43	40
	北側		44	42	41
昼間	東側	55以下	44	45	44
	南側		48	52	50
	西側		44	46	43
	北側		44	44	43
夕	東側	50以下	43	45	43
	南側		41	47	42
	西側		41	44	40
	北側		41	42	41
夜間	東側	45以下	42	44	42
	南側		40	42	43
	西側		37	42	41
	北側		40	43	42

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2013年度	2014年度	2015年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	9.1	9.2	12.4
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	3.6	3.9	4.7
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	7.1	7.0	8.7
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.3	7.2	6.8
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	30未満	30未満	40.5
	銅	mg/L	3以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	21.2	18.0	25.8
	全リン	mg/L	16以下	2.0	2.6	2.6
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.2	2.5
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.1未満	0.1未満
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.8未満	0.8未満	0.8未満

※1 埼玉県条例: 埼玉県生活環境保全条例
 ※2 騒音規制法: 騒音規制に関する法律
 ※3 ダイオキシン法: ダイオキシン類対策特別措置法

太陽ホールディングス嵐山事業所 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地



● 小型焼却炉(ダイオキシン法^{*3}/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2013年度	2014年度	2015年度
ばいじん	g/m ³ N	0.15以下	0.0058	0.015	—
排ガス中のダイオキシン	ng-TEQ/m ³ N	5以下	0.39	0.15	—
焼却灰中のダイオキシン	ng-TEQ/g	3以下	0.015	0.057	—
塩化水素	mg/m ³ N	500以下	28.5	114	—

※「小型焼却炉」は2015年度に撤去しました

● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

臭気指数	測定箇所	規制値	2013年度	2014年度	2015年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	21	14	17
	技術棟排出口	40以下	22	14	22
	敷地境界線No.1	18以下	10未満	10未満	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	10未満	10未満	10未満

● 騒音(騒音規制法/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2013年度	2014年度	2015年度
			(dB)		
朝	東側	50以下	43	45	45
	北側		42	44	43
	西側		44	42	44
昼間	東側	55以下	45	45	45
	北側		44	44	43
	西側		46	45	45
夕	東側	50以下	45	45	44
	北側		42	43	40
	西側		45	43	40
夜間	東側	45以下	43	44	44
	北側		41	43	40
	西側		43	42	42

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2013年度	2014年度	2015年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	37	10	17
	生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	7.7	27.7	11.5
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	6.3	10.3	6.1
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.0	7.2	7.2
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	189.2	6,484	608.3
	銅	mg/L	3以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満
	亜鉛	mg/L	2以下	0.07	0.05未満	0.05未満
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.1未満	0.1	0.1未満
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.2
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	全窒素	mg/L	120以下	30	21	21
	全リン	mg/L	16以下	5.1	2.0	3.7
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
有害物質	シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満
	鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
	四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	ほう素およびその化合物	mg/L	8以下	—	0.1未満	0.1未満

※「小型焼却炉」「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の前平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下をあらわす